

大分市の財政

(平成24年度版)



平成23年度おおいた景観発見賞受賞作品
『うみねこ』

大分市財務部財政課

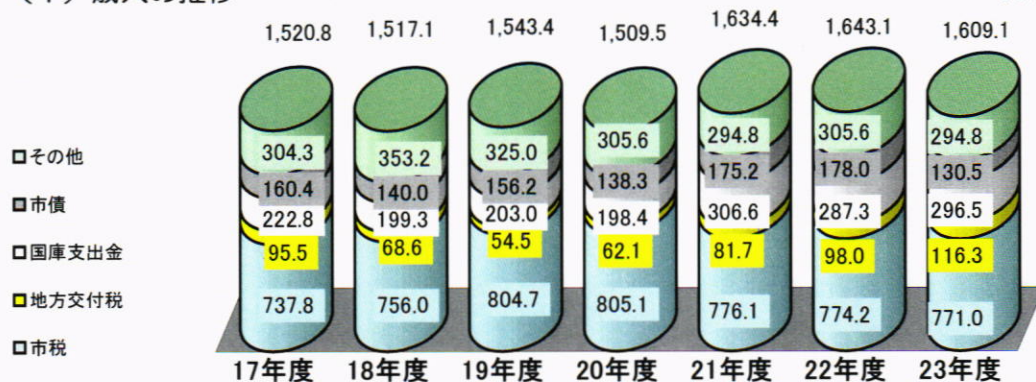
1 一般会計の状況（平成23年度決算）

行政運営の基本的な経費や政策的経費が計上されている一般会計の状況を把握することで、大分市の財政状況を見ることができます。

1. 歳入

(1) 歳入の推移

(単位: 億円)



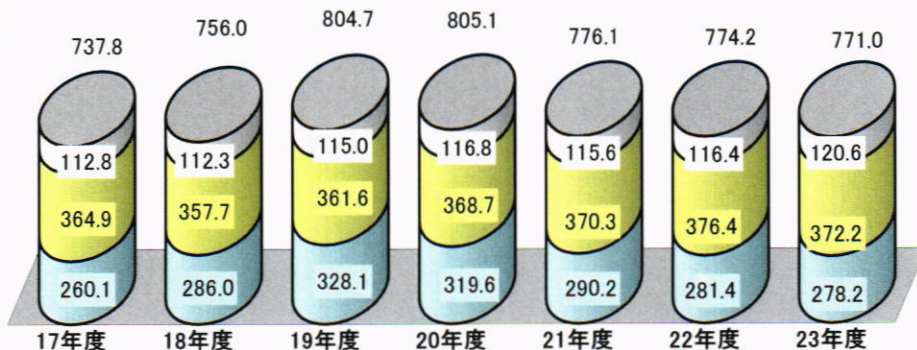
平成23年度歳入は、前年度に比べて約34億円減少しています。主な内訳では、地方交付税が約18億円、国庫支出金が約9億円増加した一方、市債が約48億円の減、市税が約3億円の減となっています。

(2) 市税

(単位: 億円)

市税の推移

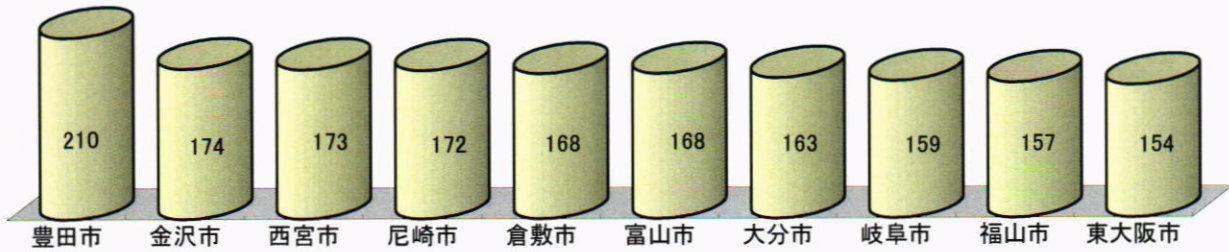
- その他の市税
- 固定資産税
- 市民税



市税は前年度に比べ約3億円減少しています。主な内訳では、市たばこ税が平成22年10月の税率の改定の影響により約4億円、法人市民税が申告額の増により約1億円増加したものの、固定資産税や個人市民税がそれぞれ約4億円減少しています。

市民一人当たりの市税収入(人口40万人台の中核市 上位10市)

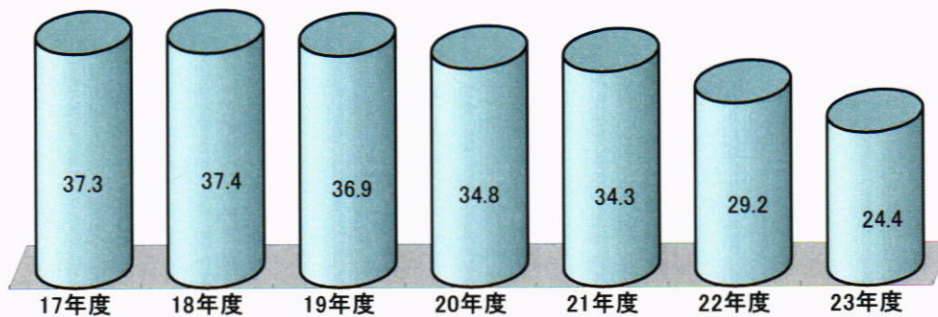
(単位:千円)



市民一人当たりの市税収入は16万3千円で、昨年度から1千円減少しました。また、中核市41市の平均は15万1千円で、大分市は中核市全体で金額の高い方から11番目、人口40万人台の中核市で15市中7番目の位置にあります。

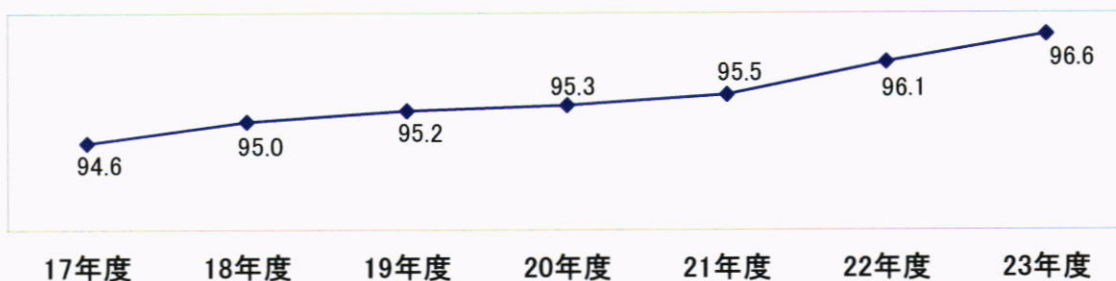
市税の未収入額の推移

(単位:億円)



市税収納率の推移

(単位:%)



市税の未収入額は、平成17年度には約37億円であったものが、平成23年度では約24億円となり、約13億円の減少となっています。

また、市税収納率については、前年度より0.5ポイント上昇しています。

市税は市の収入の47.9%を占めており、事務事業を執行していく上で必要となる財源の根幹となっています。また、市税は市民の方から平等に負担してもらうべきもので、税負担の公平性という観点からも未収入額の解消にさらに努める必要があります。